

平成25年10月22日

柳町小学校保護者 各位

文京区教育委員会

柳町小学校の教室対策に関する今後の対応について

秋冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、柳町小学校の増築に向けた「整備方針案」については、平成25年7月に教育委員会及び議会に報告するとともに、保護者や地域の皆様にご説明しました。

その結果、各方面から様々な意見が寄せられたため、当初予定していた9月の整備方針決定を見送り、その旨を9月に保護者の皆様にご説明した上で、第2次案の提示に向けて検討を進めてきたところです。

このたび、区長部局も含めた全庁的な検討・調整を行った結果、次のとおり対応することとなりましたので、お知らせいたします。

1 今後の対応内容

- (1) 柳町小学校の教室対策については、学校関係者、町会等地域関係者、学識経験者及び行政からなる新たな会議体を設置し、検討する。
- (2) 平成27年4月時点の教室対策は、仮校舎により教室を確保することで対応する。

2 理由

この間実施した保護者説明会等の意見を踏まえると、整備方針案については、今後、更にていねいな意見調整が必要と考えられる。

(9月7日に開催した説明会でいただいたご意見・ご要望及びその後個別にいただいたご意見・ご要望の要旨は、別紙のとおりです。)

なお、検討スケジュール及び会議体のメンバーについては、可能な限り早期に決定し、お知らせいたします。

【問い合わせ先】

教育推進部学務課施設係

電話 03-5803-1296

FAX 03-5803-1367

E-mail b701000@city.bunkyo.lg.jp

1 柳町小学校保護者説明会（9月7日）で出されたご意見（要旨）

項目	区民意見
計画全体	1 なぜ体育館を1階とすることにしたのか、考え方をしっかりと示してほしい。
	2 当初案の参考案Bでは、デメリットとして校庭が狭くなることが挙げられている。1階をピロティとし、2階を体育館とするPTA案では、ある程度そのデメリットが解消される。このPTA案の何が問題だと考えているのか。
防災	3 水害の際には、礪川小や指ヶ谷小などに避難をするということだが、ゲリラ豪雨のような状況では、少しでも近くに避難所が欲しいと考えるのが住民の感覚である。
	4 「避難中に水害が発生した場合は、一時的に2階以上の特別教室などへ移動するなどの対応が考えられる。」とのことだが、生活している荷物がある中で、緊急に避難するという具体的な場面が想定できているのかお聞きしたい。
	5 防災課に確認したところ、軽度の水害の場合は柳町小学校が避難所になることは十分にあるという回答であり、それに基づきPTA案を作成している。水害時に最寄りの柳町小学校に避難できるようになれば、地域の高齢者にとっても安心感がある。また、現在の治水システムでは、集中豪雨の際も、床下浸水程度が想定され、仮に大規模な浸水があったとしても、翌日には水が引いていることが考えられ、避難所として孤立して機能が果たせなくなるという事態は考えにくい。
コスト	6 「事業者については、入札により決定するため、入札参加事業者のうち一番安い金額のもの契約することになる」とのことだが、「工期の短縮」、「工法の工夫」、「校庭の確保」など、必要な条件をしっかりと提示し、それらをクリアした上で「金額の安い」業者を選定していただきたい。
	7 プールが屋上であっても、1階であっても、一定のコスト増は免れない」とのことだが、具体的な数値を示した上で、どちらがどういう面で優れているのかを比較して説明をすべきではないか。
	8 「他校でも実績のある、開閉式の屋根があるプールを考えている。」とのことだが、当初の教育委員会の案では屋根は想定されていなかったはず。当初の9億～10億よりも、屋根の分だけ予算が増額することになるのか。
スペース	9 3階プールを想定されているようだが、窪町小学校の図面を見ると、2階分の高さが必要となる。400トンもあるプールの重さを支えるための梁も通常の倍程度必要となることも考慮すると、かなりコストのかかる案ではないか。
	10 「1階のプールは、建物の強度確保のため、オープンスペースに一定数の柱を設置する必要があり、実質的な広いスペースでの確保は望めない。」とのことだが、PTA案では、540㎡程度のスペースが確保できるという計算になっているため、この見解には違和感を覚える。
プール	11 屋上をプールとした場合でも、夏季以外は遊び場として活用することも可能」ということだが、フロアが分かれるよりも、PTA案のように1階に校庭と連続したスペースを設けるほうが、子どもたちの教育環境の点からみても、良いものと思われるが、どのようにお考えか。
	12 「照明器具や水温調節用設備が必要となり、コストや騒音などの面でも課題がある」とのことだが、照明器具は3階プールでも必要になる。水温調節用設備についても、太陽熱温水器を利用すればコスト面、騒音面でも問題ないのではないか。
	13 「1階にプールを配置すると、水温維持の面からボイラーの設置が必要となります。」とのことだが、「太陽熱温水器」を利用することができる。むしろ、「ボイラー」よりも経済的で環境にも配慮されている。災害時にもシャワーとして使える。太陽光パネルと蓄電池は文科省から補助金も出るようである。こうした制度を上手く活用して検討し、屋根や屋上スペースを有効に活用すべきである。
構造・地盤	14 「柳町小学校は土の校庭であるためオープンにした場合のプールへの土砂の侵入が想定されるなど、課題がある」 「1階をプールにする場合は、校舎とプールの間に壁を作ることが必要」とのことだが、プールへの土砂の侵入を防ぐために、柱の間に取り外し可能な防砂柵を設けることで、対応できると考える。
	15 この周辺は地盤が弱い場所であるため、プールを上にするような強固な建物を建てるには、工期、工事費が相当なものになると思われる。工事にあたって、地盤調査をする必要があると考えるが、その予定はあるのか。
	16 鉄筋コンクリートか鉄骨か等、構造・工法により工期も費用も大きく異なるはずだが、その部分についての説明がなく検討された形跡も見られない。構造・工法について検討して説明をすべきではないか。
既存校舎	17 プールを3階に配置すると、重量物が上に乗るため、構造上、地盤にかなりの負担をかけるし、騒音・振動も大きくなる。工事中の児童や近隣住民等への精神面、健康上の影響については、どのように考えるか。
	18 人口推計からこのような事態が想定できたにもかかわらず、対応が後手に回ったことにより、子どもたちが不利益を被ることになる。その精神的な配慮を含めて、既存校舎についても十分な施設の整備をお願いしたい。
教室数	19 毎年区が都へ報告している「公立学校施設等の総括表」によると、保有面積3,507㎡に対して危険面積が約7割の2,475㎡となっている。危険面積とは、教育をするにあたり構造上ふさわしくないもの、とされている。つまり、強度が足りないということである。補助金等を活用し、既存校舎への整備もお願いしたい。
	20 人口推計について、再開発計画等は勘案されているのか。
進め方	21 柳町の学区内にも、大型マンションが開発される可能性がある。教室数の推計にあたっては、もっと幅をもたせるべきではないか。
	22 児童数の推計について、昨年11月に「『区立小学校の児童数』及び『年少人口』の現状報告について」という報告がされている。教室が足りなくなることは、かなり前からわかっていたことではないのか。もっと早く対応すべきではなかったのか。
	23 7月に整備方針案を提示するにあたって、保護者や地元住民等に対し事前のアンケート等もせず、わずかな期間で方針を決定しようとするようなやり方に不信感を覚える。
	24 様々な案について、工期や校庭等面積の面だけではなく、教育活動にどのように影響するかについて、学校の先生方のご意見をいただいたうえで十分に検討していただきたい。
	25 これまで示された3案、PTAの案、保護者等からの意見等どれも様々な課題がある。全ての課題を解決するのは難しいが、より良いものをつくるために、どうしたら課題を超えていけるか、子どもたちの教育環境を第一に考えて十分に検討を進めていただきたい。また、課題が解決できない場合、なぜできないのか納得できる説明を行ってほしい。
26	26 計画等の策定の際には、区民の代表を加えた協議会のようなものでの検討をする予定はないのか。今日のような会を何度繰り返しても、着地点が見えない。このまま計画が頓挫してしまうのではないかと危惧もある。

2 メール・文書等で個別にいただいたご意見（要旨）

平成25年10月11日現在

項目	区民意見
計画全体	1 説明会に出席したが、現状ではPTA案が一番良いと思う。プールは、建築費の減が見込まれる1階が良い。
校庭	2 校庭が10m狭くなるとのことだが、実質的にはそれほど狭くならないという話もある。具体的にどこまで削られるのか、示してほしい。仮に大幅に削られるのであれば、児童数が増える中運動会等の運営が困難になるし、野球やサッカーなど広い面積が必要なスポーツができなくなる。休日に校庭を使っているチームの活動も制限されてしまう。
	3 プール部分を活用する案(教室とプールを合築)等、極力現状の校庭面積を維持する計画の採用について考慮いただきたい。(少年野球チーム)
	4 工事期間中は、工事にできるだけ協力し、安全を最優先に子どもたちの活動状況に注意指導するので、子どもたちが極力、校庭使用を続けていくことができるよう要望する。(少年野球チーム)
プール	5 日本臨床皮膚科医会の統一見解である「学校生活における紫外線対策に関する具体的指針」では、肌を露出し紫外線の影響を受けやすいプール授業について、時間を工夫する・場所を工夫する・服で覆うなどの対策の重要性が指摘されている。屋上にプールを設置することのリスクを十分検討してほしい。
進め方	6 校庭をどうするか、プールをどうするかといった主要な点について、人により意見が別れているのであれば、アンケートをとることはできないか。
PTA要望	7 児童の安全・生命にかかわる観点から、また地域と共に歩む柳町小学校としては、プール1階、体育館2階の配置で増築を計画して欲しい。(柳町小PTA)
	8 増築工事中の子どもたちにかかるストレスを配慮し、メンタルな面を守るために、既存の校舍改修に経費を充て、最適化された予算の執行をお願いしたい。(柳町小PTA)